



NPO 法人



E~LINK

2020年度 活動報告書

E-LINKのミッション

子どもと地域・世界を繋ぎ、

子どもたちにたくさんの夢を



メンバー構成

代表理事：日向洋喜

理事：平野順風、河嶋峻、柴田涼平、木村高志、杉山旬

監事：谷脇貴大

社員：他4人

アドバイザー顧問：平野 直己(北海道教育大学教授)

太田稔（札幌大谷大学講師）

沿革

2017年7月：学童保育アドベンチャークラブ札幌 スタート

2019年9月：フリースクールLIKEPLUS スタート

2019年10月：NPO法人格取得。NPO法人E-LINK発足

はじめに

新たな繋がり、新たな出会い

2020年はこどもたちはもちろん、私たち、そして皆様にとって大きな試練となった1年。

全国一斉休校という未曾有の事態で、フリースクールは一時おやすみ。新小学1年生は学校へ行けず、みんな朝から晩まで学童保育という期間が約2ヶ月半もありました。

また、宿泊客もほとんどいなくなったゲストハウスで子どもたちの声だけが響き渡っていました。

マスクに手洗い消毒。手作りおやつの廃止。毎日公園で何時間も走り回る日常。

新たな生活様式は学童保育の中でも生まれていきました。フリースクールが再開した頃に、ゲストハウスの改築も行い、こどもたちの活動スペースが広がりました。ゲストハウスに集うゲストとの繋がりとはなかなか難しい日常ではありましたが、オンラインという繋がりもまた生まれました。

オンラインのイベント出会った大学生が子どもたちと遊びに来てくれたり、オンラインを使った講座やイベントも広がり、子どもたちとの繋がりとはコロナ禍を通してまた大きな広がりを見せたようにも思います。年度末にはゲストハウスは、短期間シェアハウスという形で生まれ変わり、約1年ぶりにヒトの声が響き渡り、こどもたちも新たな出会いに恵まれました。

コロナ禍でできなかったことは、多々ありますが、子どもたちとの日常は続いていきます。やれることはやれるときに、新たな繋がりも作りながら、またしばらくは続く試練と一緒に乗り越えて行きたいと思います。

NPO法人 E-LINK 代表理事 日向 洋喜

2020年の大きな動き

4月～6月

- ・ 全国休校期間に伴い、学童保育朝から開所
- ・ フリースクール全面休所
- ・ ゲストハウス改築工事実施



9月

- ・ 英会話教室始動！



10月

- ・ 創成東地区で”さっぽろで一番あたたかいハロウィン開催！



2月

- ・ プレーパーク初実施！



アドベンチャークラブ札幌

札幌の「ゲストハウスyuyu」を拠点としている、世界初のゲストハウス内で実施されている学童保育。日常的な遊びの中にゲストハウスに訪れる国内外の大人との交流や、地域との繋がり作りでまち歩き・お仕事体験も実施。登録児童数35名。（2019年現在）



世界と出会う、放課後スクール

毎年恒例、円山登山を中心に、コロナ対策も兼ねた外歩き企画「アドベンウォーク」を長期休みに挑戦！今年1年、川に山に公園と、外遊びを中心に過ごしていきました！冬休みに歩いた距離はなんと約24km！みんなで体力づくりにもなりました♪



コロナ禍だからこそこの取り組み！こちらも恒例、北ガスジェネックスさんとのお料理教室。今回はオンラインで繋げて、ケーキとパフェ作りを楽しみました！また、武蔵女子短期大学の学生さんの授業でのコラボなど、多方面の大学生との繋がりも。

フリースクール LIKEPLUS

ゲストハウスを訪れる国内外の様々な大人との出会いの中で

【自分】についてゆっくりと考えます。

時には仲間と、時には大人と、時には自分より小さな子ども達と関わる午前のサードプレイス。

登録生徒数：15名（2019年現在）



LIKEPLUSの日常はとてものんびり！天気が良ければ川や公園でのんびり。みんなで映画やゲームでも大盛り上がり。今年は、レジニアクセサリー作りがブームになり、キレイに仕上げて学童保育のこどもたちに向けて販売体験もしました！好きなことでお小遣いもゲット！



少人数だからこそ！車に乗って「ときの森」さんの畑へ行って収穫体験。卒業制作で写真立て作り、志望校のOBの先輩に色々話を聞いたり。たくさんの大人と、個別にたっぷり関わりを持てました。放課後は学童保育の子どもたちの良いお兄ちゃんお姉ちゃんとして遊んでくれる生徒も♪

PLAYFUL BASE

地域資源を活用して「遊び」をツールに子ども、大人、地域が交流できる居場所づくりを実施。
2020年2月よりスタートのplayful cafeをベースに屋内外(レンタルスペース、公園やお祭り等)に
子どもから大人までが笑顔になれる空間作りをしています。



公園遊び場” プレーパーク” は毎月月末
木曜日午前中「永山記念公園」で実施！



お隣の北海寺さんでのPlayfulCafeはヨガ
や読み聞かせなど、企画たくさん♪



こちらも、zoomを使ってオンライン開催！

初開催” さっぽろで一番あたたかいハロウィン”
はなんと25の地域事業者さんのご協力と、
約120名の親子が参加しました！

オンラインの今だからこそ、リアルな繋がり

新型コロナウイルスの対策としてこの1年間、大きく進んだのが、zoomなどのオンライン対応かと思えます。直接出会えないからこそ、ビデオ電話でいつでも繋がれる。私達もこれを使い、打ち合わせも増えましたし、学校現場でも活用されていていきます。全国一斉休校となった3月～5月ではこどものオンラインで行う体験活動が一気に広がり、どこにいても平等に様々なことが体験できるようになりました。世界中どこにいても簡単に繋がれるオンラインの時代となりました。ただその一方で、直接の繋がりが減り、どこことなく寂しさや不安を感じることもまた事実です。

2020年10月のハロウィン。毎年学童保育で、地域のお店等を仮装で周り、トリック・オア・トリートをしていましたが、今年度は規模を拡大。一般社団法人下町づくり社さんの力をお借りし、一般の家庭に向けてハロウィンイベント「さっぽろで一番あたたかいハロウィン」を実施しました。こんなときだからこそ、こんなときにもできる。繋がりを感じられるハロウィンにしたい。と、地域の25もの事業者が協力してくださり、集合等は一切なし、自由参加で各自仮装して回る形で、約120名以上の親子が参加してくれました。このイベントはこどもたちがハロウィンを楽しむことはもちろん、「地域の知らないお店、知らない人と出会う」が裏テーマでした。

準備段階から、事業者さんが協力してくれる事業者さんを探してくれたり、保護者の方がつないでくれたり、イベントの始まる前からたくさんの方に協力頂きました。

その中で、保護者の方が口にしてくれた、忘れられない一言があります。

「コロナ禍でたくさんのこどもたちのイベントが中止になり、楽しみがどんどん減っている。イベントを作ってくれてありがとうございます。」

オンラインという媒体での取り組みは進む一方、リアルな繋がりが極端に減ってしまった1年間。こどもたちには変わらず、直接の出会い・繋がりが必要だと感じています。「コロナだからできないね。」ではなく、コロナ禍でも「こうすれば、ああすればできる!」を見つけてできる限りのリアルな繋がり作りを、私達はしていきたいと思っています。



” 繋がり ” ということ

私達が言葉にする” 繋がり ” にはたくさんの意味があります。こども同士の繋がり。大人同士の繋がり。こどもと大人。地域との繋がり。などがあります。私達はその繋がりすべてが、こどもの夢や可能性が広がっていくと信じています。オンラインで、リアルではできない繋がりも作れますし、リアルでしかできない繋がりもあります。

オンラインで生まれた繋がりから、リアルでの繋がりへ。

” 繋がり ” は未来への種まきです。E-LINKとしてたくさんのつながりを作ることで、子どもたちの未来への種まきのお手伝いになればと考えています。



文：日向洋喜

寄付・ボランティア報告

E-LINKでは単発～定期的に様々な方がボランティアとして子ども達と関わってくれています。コロナ禍で直接的な関わりが減っても、おやつの寄付など、嬉しいサポートも。。。また、今年は定期的に参加してくれる大学生インターンや、大学の授業の一環で訪問してくれた例も。平日お休みの社会人の方や、就労支援の一環でのボランティアなど、コロナ禍においても、可能な限りたくさんの方々を訪れてくれました。出会いの数だけ、子ども達の世界が広がります。ぜひ、お気軽に子どもたちに会いに来てくださいね。どなたでもお待ちしております！



合計76,500円のご寄付を頂きました！

頂いたご寄付は、主に子どもたちの日々のおやつ費用や、おもちゃ購入費用、地域交流を目的としたPlayfulBaseの運営等に使用させて頂いております。

特に、新型コロナウイルスの影響で手づくりおやつを提供を中止している間は直接おやつのご寄付や、購入用のご寄付も頂き、大事に使わせて頂きました。

E-LINKでは、私達の活動を支えてくださる月額サポーターを募集しています！少額の寄付からでも受け付けていますので、ぜひ一緒に活動を支えてくださると幸いです。

月額サポーターになると…



- ・E-LINKメンバーとして自由に活動参加可能
- ・E-LINK活動報告書の先行送付（メールもしくはLINE）
- ・サポーター専用公式LINEへご招待
- ・企業・個人名をHPに掲載（希望者）
- ・イベント共催・企画サポート（希望者・希望団体）

※LINEでは活動の様子やイベント情報の配信から、チャットを使ってE-LINKスタッフと直接、1対1のコミュニケーションも可能です。情報共有からご相談まで、お気軽にご連絡頂けます。

～コロナ禍の中での新たなつながり～ 2020年の振り返りと来年の展望

2020年度は引き続き、全国一斉休校という初めての状態でのスタートでした。ゲストハウスから宿泊客が遠ざかり、代わりに朝から晩までこどもたちが過ごす。この長い休校期間でこどもたちはまた元の生活に戻れるのだろうか、（1年生は初めての小学校へ）。そして、始まって半年、やっと居場所となりつつあったフリースクールの長期休所。心配は多岐に渡っていましたが、6月の学校再開からはその心配もなんのその。これまでと変わらない日常を過ごす子どもたち。そんな様子に少しの安堵感もありました。とはいえ、今でこそ慣れましたが手洗い消毒にマスク、密なスキンシップなど、基本的な感染対策を子どもたちに強いるのは心を痛みました。

そのようなコロナ禍の中で、訪れてくれたたくさんの人たち。前述にもありましたが、ハロウィンと一緒に実施して下さった地元の事業者の方々など、私達が目指す地域とのつながり、人との出会いは幸いにも、この1年でまた広げることができました。

2021年は今年1年生まれたつながりと、これまでのつながりをより強く、新たなこどもの居場所づくりや、地域でできることへのチャレンジも始まっていきます。どうぞこれからもご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。

コロナ禍の学童保育の様子が、 HBCテレビの今日ドキッにて紹介！



6月9日、HBCテレビ（北海道放送）“今日ドキッ”にて学童保育の様子が紹介されました！休校期間中の子どもたちと、学校が始まったばかりの子どもたちの様子を拾い上げて腐りました(^^)

さっぽろで一番あたたがいハロウィン 初実施！

25の地元の事業者さん（創成東のお友達）のご協力の下、参加者120名以上の大成功♪

コロナ禍でも、楽しいハロウィン。地域の人と人が繋がれるハロウィン。との思いで、一般社団法人下町づくり社さんのご協力の元、創成東地区を巻き込んだハロウィンを実施！当日予想は30人～50人程度を想定していたらなんと、約120名を超える参加者が、！それぞれの家族や友達同士が、それぞれのタイミングで地域のたくさんのお店とつながり、また来たい場所になっていく。そんな、密にならない密なハロウィン。大成功でした！ご協力頂いた皆さん、ご参加頂いたみなさん、ありがとうございました！！



コチラも要チェック！

ホームページ：



Facebook：



Instagram：



寄付サイト：



ADDRESS：〒060-0053 北海道札幌市中央区南3条東4丁目3-13
TEL：0880-9569-2359
MAIL：educationlink.2019@gmail.com

NPO法人 E - LINK